

1. 対象者：外来で実施可能と判断された初産婦・経産婦で同意が得られた方
2. 入院時の看護：無痛同意書の確認
3. 麻酔導入の看護
 - ① 必要物品：麻酔導入前
 - ・ラクテック注 500ml でルート確保
 - ・胎児心拍モニター
 - ・生体モニター（血圧・SpO2）
 - ② 麻酔導入時
 - ・1%キシロカイン 10ml
 - ・ペリフィックスキット
 - ・0.5%ヘキサック水 R
 - ・帽子、マスク、滅菌手袋
 - ・ステリテープ
 - ・生食 20ml
 - ③ 緊急時の物品
 - ・救急カート→アドレナリン・アトロピン硫酸塩・エフェドリン・ノルアドレナリン・リドカイン静注用・ミタゾラム・プロポフォール・ロクロニウム・スガマデクス静注・マグセント注
 - ・イントラリボス
 - ・ボルベン 500ml・ラクテック注 500ml・生食 500ml・ソリタ T3 500ml・5%gl500ml
 - ・喉頭鏡、ブレード
 - ・スタイレット
 - ・挿管チューブ：6、6.5、7
 - ・固定用テープ
 - ・バッグバルブマスク
 - ・酸素マスク
 - ・吸引チューブ
 - ・エアウェイ
 - ・AED
4. 麻酔挿入時の看護
 - ・帽子、マスク、手袋着用
 - ・生体モニターの自動血圧測定5分ごとにする
 - ・産婦を左側臥位とし、麻酔処置の体位を保持
 - ・カテーテル挿入後ハイラテテープで固定する

・麻酔挿入時の胎児心拍モニターはフルモニター

4. 医師への通常連絡

- ① 突然の運動神経遮断→Bromage スケール 1 以上になる
- ② 突然の感覚神経遮断、コールドテストで急にレベルが上がる
- ③ 鎮痛不十分、BTP、分娩進行に伴って、または麻酔の濃度が下がることにより必要な鎮痛が得られなくなる

5. 医師への連絡(緊急)

- ① 運動神経ブロック Bromage スケール 3
- ② 感覚ブロックコールドテスト T 6 以上
- ③ 対処困難な副作用及び合併症
- ④ 意識レベルの低下

6. 硬膜外鎮痛時モニター

- ① 開始時：胎児心拍モニター、SpO2 モニター常時装着、血圧測定間隔 5 分毎異常のチェック
- ② 15 分以降は、15 分おきに血圧測定、胎児心拍モニター、SpO2 モニター常時装着

7. 無痛分娩中の留意点

- ・ 3 時間おきに体位交換、トコモニターの位置交換
- ・ 3 時間おきに体温測定
- ・ ベッド上安静、歩行はしない。BT 留置 or 3 時間毎の導尿
- ・ 抹消静脈はラクテック注 500ml を 100—150ml/H で維持する